(P1:基本・運営情報) 指定管理施設評価 年間評価シート

(令和5 年度実施) 令和4 年度評価

1. 施設概要

施設名	心道会館		施設分類	Į.	施設管理型	
所在地	三田市三田町19番33号					
指定管理者	株式会社 清光社					
指定管理者所在地	加古川市西神吉町宮前711番地の2			選定方法	۲ ۲	公募
化中世里	令和4年4月1日 から	× ,	・施設の案内		₹ <i>\</i>	
指定期間	令和9年3月31日 (5 年間)	主な・施設利用に 業務内容・利用料等の		-		務
利用料金制	採用	・施設の維持管理業務				
施設所管課	地域共創部市民協働室文化スポーツ課		電話	079-5	559-5145	

2. 指標

施設の設置目的	市民がスポーツ活動を通じて心身の健全な発達を図るとともに市民相互の交流、市民文 化の向上及び健康増進に寄与する。				
管理運営におけ る基本理念	スポーツ活動を通じて心身の健全な発達を図るとともに地域のコミュニティ活動の活性 化を促進する。				
評価指標(下記の打	指標を【増加】又は【減少】させる管理運営を実施) R4年度 R3年度 R2年度				
1 施設稼働率	【増加】 (%) 48 44				
2 以後も「利用し 利用者の割合	したい」施設だと答えた 【 ^{増加} 】	(%)	93	93	89

3. 管理運営状況		現指定管理者	現指定管理者	現指定管理者		
	項目	詳細		R4年度	R3年度	R2年度
	利用件数(件)【全体】	件数(件)【全体】 施設全体		1,975	1,835	1,544
施設	利用者数(人)【全体】 施設全体			17,079	15,451	12,153
利用状況	利用者数①(人)	1階剣道場		6,948	7,432	5,878
	利用者数②(人)	2階柔道場		10,131	8,019	6,275
	有料施設稼働率(%)	有料施設の平均		48	44	36
	(単位:千円)		R4【計画】	R4【実績】	R3【実績】	R2【実績】
	収入		6,532	6,585	5,953	5,554
	指定管理料		4,632	4,632	4,158	4,290
	施設利用料金		1,900	1,953	1,795	1,264
化中年四十	事業収入等(受講料	その他)	0	0	0	0
指定管理者の収支状況	支出		6,045	6,518	5,931	5,452
	人件費		2,050	2,036	2,006	1,981
	光熱水費		1,400	1,398	1,354	836
	施設修繕費		95	95	99	109
	施設維持管理費·事業費等		2,500	2,989	2,472	2,526
	差引き		487	67	22	102
市の使用料	収入(利用料金制を採用	していない場合)				

利用者	実施時期	回答数	主な調査内容及び満足度(普通以上の割合)	
満足度	ム 和 1 1 1 0		利用料金	96%
间里 布	令和4年10 日	28件	職員の対応	92%
果	73			

(P2:評価内容)

指定管理者制度モニタリング【様式3】

<u> </u>			
指定管理施設評价	≖ 年間評価シート	令和4 年度評価	(令和5 年度実施)
施設名	心道会館	施設分類	施設管理型
指定管理者	株式会社 清光社	施設所管課地域共創部	市民協働室文化スポーツ課

4 各項目における評価内容

4. 谷頃日にのい	/ る計画内台			
評価の観点	評価項目	項目区分	指定管理者セルフ評価	市評価
Ⅰ.基本的な	(1)施設運営に係る協定事項の遵守	適正管理	3 適正	3 適正
サービスの提供	(2)利用者の安全確保	サービス効果	5 優れている	3 標準
	(3)利用承認、案内等の対応と接遇	サービス効果	5 優れている	4 やや優れている
	(4)市、関係団体、地域等との連絡調整	サービス効果	3 標準	3 標準
	(5)施設の目的に沿ったサービスの提供	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(6)目標の達成度	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
Ⅱ.施設の管理	(1)建物保守管理・設備機器類の安全管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)収納・文書・備品の適正管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(3)清掃·衛生管理·警備	適正管理	3 適正	3 適正
	(4)指定管理者が行う修繕	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(5)コスト削減、環境配慮の取り組み	サービス効果	5 優れている	3 標準
Ⅳ.満足度向上へ	(1)苦情等への対応	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
の取り組み	(2)利用者獲得及び収入増加に向けた取り組み	サービス効果	3 標準	3 標準
	(3)利用者ニーズに応じた改善	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(4)利用者の満足度	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(得点率=評価項目の評点の合計	÷満点×100)	得点率	69%

1 1 1 2 1 4 1	1
得点率	69%
総合評価	В

評価項目(項目区分別)における評価区分				
適正管理【3段階】 サービス効果【5段階】				
	5 優れている			
	4 やや優れている			
3 適正 3 標準				
2 課題有	2 やや劣っている			
1 要改善 1 劣っている				
該当しない評価項目は斜線表示とする				



総合評価における評価区分					
得点率	\rightarrow	総合評	7価		
概ね80%以上 ※	\rightarrow	S	優良		
概ね70%以上 ※	\rightarrow	Α	良好		
概ね60%以上 ※	\rightarrow	В	標準		
概ね50%以上	\rightarrow	С	要努力		
概ね50%未満	\rightarrow	D	要改善		
※評価項目に1つでも1の評価がある場合は C以下とする					

5. 総評

指定管理者による所見

- ・年間を通して安定した運営を行えた。
- ・昼間の利用者の増加のため、今後も施設の認知度を高めるよう市内外へ積極的なPRを随時行い、施設の利用促進に繋 げる。

市による所見

【成果】

- ・令和2年度からは空調設備を新設した影響もあり、利用者数は増加傾向にある。また、利用団体へのアンケートでは「利用 しやすい」との回答が昨年度より増えてる。
- ・適切な貸館業務や丁寧な窓口対応ができている。

【課題】

・積極的に施設のPRを行い、施設の認知度を高め、平日夜間や休日に比べ稼働率の低い平日昼間の利用率を増加させ る必要がある。

【今後の方向性】

・市内外からの施設の認知度を高め、安全安心に利用できる環境を整えるとともに利用率が低い傾向にある平日昼間の利 用を促進し、施設全体の稼働率を高める必要がある。